





審査結果報告書

平成 29 年 9 月 4 日

主 査	氏 名	石 川 均	
副 査	氏 名	熊 谷 寛	
副 査	氏 名	半 田 知也	
副 査	氏 名	飯 田 嘉彦	

1. 申請者氏名 : 森 洋斉

2. 論文テーマ : 近視 Laser in situ keratomileusis 後眼の眼内レンズ度数計算に対する角膜非球面性の影響

3. 論文審査結果 :

近年、白内障手術件数は増加している。一般に白内障術前には、角膜形状、眼軸長等から術後狙いとする度数を計算し、挿入するレンズ度数を選択する必要がある。一方、昨今、近視屈折矯正手術 (Laser in situ keratomileusis: LASIK) も同様に一般的となり、その結果 LASIK 術後に白内障手術を受けるものが増加してきている。LASIK 術後は通常 of 白内障術前と異なり、術後の屈折状態を予測することは大変困難であり、しばしばレンズ交換等の再手術が必要となる。今回、森洋斉先生は、度数ずれの原因を角膜形状に着目し、LASIK 術後は角膜前面が平坦化するため誤差が大きくなり、さらに角膜の非球面性を測定することで、屈折誤差を予測、補正可能であることを実際に研究し報告した。上述の理由から本研究は、今後の眼科臨床上非常に重要な研究であることは言うまでもない。今回の学位審査では、発表、質疑応答も大変素晴らしいもので、学位に値すると判断した。